

# 排泄 することに問題をかかえ

ストーマケア

## 生活している人を支える 在宅看護

2022年度の指定規則改正で、3.排泄援助後術「12.ストーマ管理」の到達度レベルが引き上げられ、知識のみならず、モデル人形もしくは学生間で、「ストーマケアの演習の実施」が必須となりました。今回は京都橘大学看護学部へ、ストーマケアの授業見学に伺いました。

### 認定看護師教育課程×学部教育がもたらすシナジー効果

「生涯健やか看護学」「生涯健やか看護学演習」と呼ばれる、学部3年生を対象とした看護実践の授業では、認定看護師が指導にあたっています。この認定看護師教育課程と学部教育のコラボレーションが、下記の様なシナジー効果をもたらしています。

#### 特長

高度実践看護職を育成している認定看護師教育課程の教員が授業を担当  
学部生にとって、より専門的・実践的な質の高い学びの機会になっている

認定看護師  
教育課程

学部教育

#### 波及効果

認定看護師に限らず、将来のキャリアアップを考える契機となっている  
授業を受け持つ教員は、常にアップデートした実践内容を共有することで、生きた『FD』が実現  
産学連携のロールモデルになった

### 生活スタイルに合わせたストーマケアを

2022年初夏、看護実践の応用を目的とした京都橘大学の「生涯健やか看護学・看護学演習」で、学生約100名を対象にストーマケアの授業が行われました。

授業を担当するのは、皮膚・排泄ケア認定看護師の多田千和子先生です。

メインテーマは、『退院後に社会復帰を目指すストーマ保有者自らストーマ管理ができるように、看護師がどのように関わるか』…知識と技術の両側面からストーマケアについて学ぶという構成です。

#### 講義

##### 術直後のストーマケア

「術直後のストーマケアの主体は看護師です。」と、多田先生。術後の患者さんは侵襲による創痛や疲労を抱えており座位がとれないことや、創部の清潔操作などの確なケアが必要だからだそうです。また「技術面のみならず、患者さん自身のストーマの受容(心理面)に向けた関わりが重要です。」といった看護ならではの視点が印象的でした。

##### 在宅復帰時のストーマケア

次に、ストーマ保有者の在宅復帰時の、看護師の関わりで重要なポイントについて…『ストーマ保有者が就労している場合や家族が同居している場合など、それぞれの生活スタイルに配慮してケア計画を立てること』とのこと。また、在宅では病院と異なり物品が潤沢でないため、ガーゼがない場合にはワッキング

#### 授業の概要

- 対象：看護学部3年生
- 人数：94名(2名1組で計47ペア)
- 時間：90分(講義:30分/演習:60分)
- 講師：10名



ペーパーで代用するなど柔軟なケアが求められる場合もあることがわかりました。

### ストーマ装具の交換方法

洋式便座を使う場合に、(ストーマ保有者自身が)どのように排泄物を廃棄したらよいか? 粘膜損傷など、具体事例を交えて装具交換のポイントを伝授。最後は、動画で実際の流れを紹介し、演習前のイメージづくりが整いました。

### 演習

 演習の詳細は次ページ参照

講義後は、別教室で演習が行われました。密を避ける感染対策と、より丁寧な指導のため、3つの教室に分かれ、指導者も各教室に配備。

「面板のサイズはこれでいいかな?」「この体勢だと皺ができて洗浄しにくい」と言った様子で、戸惑いながらも90分間で看護師役と患者役の両方を体験することができました。

### 製品指導:



多田千和子 先生  
京都橘大学 看護教育研修センター 准教授  
皮膚・排泄ケア認定看護師



中務 直美 先生  
京都橘大学 看護教育研修センター 講師  
皮膚・排泄ケア認定看護師

### 先生方より:

私たちが普段関わっている研修生は皮膚・排泄ケア認定看護師を目指す現役看護師ですが、看護学部での授業はフレッシュな学生の感性に触れることができる貴重な機会になっています。

これまでの演習では、自作したものや硬い素材のストーマケアモデル、人形タイプのシミュレーターを使用していました。今回開発されたストーマケアモデルは、肌部分の素材が工夫され、装具の貼り剥がしや疑似便を使った排出動作をリアルに体験することができます。また、腹部に装着することで臨場感があり、新たな排泄様式で生活しなければいけない患者とそれを支える看護師、双方の役を経験することで演習効果が高まると感じました。

このモデルは看護師や介護士の現任教育にも活用できると考えています。

### 学校紹介: 京都橘大学

京都橘大学は、2022年に学園創立120周年、大学開学55周年を迎えた、21世紀にふさわしい男女両性の《自立》と《共生》をめざす大学です。看護学部は2005年に、京都の4年制私立大学初の看護学部として設置されました。豊かな人間性と生命への畏敬の念をもち、人類愛と異文化理解の視点から看護を創造的に実践し、それにより社会に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。

### 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア分野:

京都橘大学看護教育研修センターは、皮膚・排泄ケアの認定看護師の教育機関です。「医療、介護のあらゆる場で、WOC(創傷・オストミー・失禁)ケアを必要とする対象者に対し、高度な専門知識と熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践ができる看護師、チーム医療においてリーダーシップを発揮できる看護師を育成する。」を理念に、認定看護師の育成を行っています。



次ページは…

授業計画に役立つ

当演習の ● 物品リスト ● 時間配分 をご紹介!





ストーマケアモデル装着式を活用した

# ストーマケア演習

京都橘大学看護学部「生涯健やか看護学」  
排泄することに問題をかかえ生活している人を支える在宅看護

## 概要

- 対象：看護学部3年生
- 学習者：94名 2名1組で計47ペア
- 時間：90分 講義:30分/演習:60分
- 講師：10名 演習時3教室に配備

## 物品リスト ※2名1組で使えるよう準備

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ストーマケアモデル装着式 1式   | <input type="checkbox"/> 油性マジック |
| <input type="checkbox"/> ストーマ装具 単品系        | <input type="checkbox"/> 不織布ガーゼ |
| <input type="checkbox"/> 洗面器 ※お湯を入れておく     | <input type="checkbox"/> ビニール袋  |
| <input type="checkbox"/> 洗剤                | <input type="checkbox"/> 防水シート  |
| <input type="checkbox"/> ストーマ剪刀            | <input type="checkbox"/> 手袋     |
| <input type="checkbox"/> ノギス (オイルブルヒ式 知覚計) | <input type="checkbox"/> 排使用容器  |



知っておきたい



## トレーニングのコツ



- | 講義と演習を1授業内(90分)で実施する
- | 2人1組で、患者役と看護師役を体験する
- | 演習(手技)の基本の流れは、講義の中で説明しておく

### 目的

退院後の生活を想定したストーマ装具交換の実際が理解できる

### 目標

- ・ストーマ装具交換の流れが理解できる
- ・ストーマ装具交換時の観察ポイントが理解できる
- ・ストーマ装具交換時に愛護的なスキンケアが実践できる
- ・ストーマ装具交換を通して、ストーマ装具を使用する日常生活をイメージする

### 内容

坐位姿勢によるストーマ装具交換

### ストーマ装具を付けた生活を体験してもらう

学部教育では、ストーマケアだけに十分な時間を割けないのが現状です。そこで実施しているのが、「日常生活でストーマ装具を付けて生活する体験」です。ストーマの中に、模擬便を入れて装具を直接腹部に貼ってもらい、何日か生活をしてもらいます。ストーマ保有者同様に生活をしてもらうことで、患者さんが感じる困難や、心理面について少しでも理解を深めてもらうことがねらいです。ストーマケアモデルを使った技術習得と併せて行うことで、学修効果を高めることができます。

使用した  
シミュレータ  
詳細は P.22

MW72 | ストーマケアモデル装着式

SP (模擬患者) や全身モデルに装着し、ストーマケアの一連の技術が学べるモデル。演習内容に応じてストーマの種類や位置を変更できます。



講義  
デモンストレーション

30分

- 講義
  - | 術直後と社会復帰に向けたストーマケアの違い・ポイントについて
  - | ストーマ装具交換手順について
  - 交換時の観察ポイント/創傷がある場合やウロストミーの洗浄方法/面板の貼り方

移動  
模擬便作り

5分

演習教室へ 2名1組に分かれる

■ 模擬便作り



POINT 演習で使う模擬便は学修者に作ってもらう

学生数が多い場合、模擬便を指導者が事前に準備するのは骨が折れる作業です。演習前に、学修者と一緒に模擬便を作りましょう。演習前のアイスブレイクにも一役買います。



◀ 作り方のコツ (YouTube)

「模擬便の素」に水80mlを入れて

◎ 振る × 揉む

演習 A

25分

■ 患者役と看護師役の2名1組で演習



- ①必要物品を紹介する
  - ②患者役は濡れないよう、撥水シートか防水エプロンを装着し、ストーマケアモデルを装着する
  - ③ストーマを計測し、面板を切る
  - ④装具をストーマケアモデルに貼付
  - ⑤模擬便を排泄口から入れ、しっかりと閉鎖する
- ※④と⑤は逆の順番でもよい



POINT 面板を温めると、実際のヒト同様に粘着しやすくなる



- ⑥排泄物を捨てる。
- ※使い捨てのコップを受け皿にするとよい
- ⑦湿らせたガーゼや剥離剤を用いて装具を優しく剥がす
- ⑧剥がした面板を観察する
- ⑨ストーマ周囲の洗浄：  
汚れはペーパー等で拭き取り、泡立てた石鹸で優しく洗う



演習 B

20分

患者役と看護師役を交代して、演習を行う

まとめ

10分

■ まとめ

- | 患者役・看護師役の双方を体験してどのように感じたこと、気づいたことは何ですか
- | 観察ポイントやスキンケアを行う際の注意点を整理してみましょう
- | ストーマ保有者は退院後の生活で何に不安、不便を感じるでしょうか

ストーマ保有者が安心して、いきいきと過ごすことができるために、  
どのような関わりが必要でしょうか



後片付け

資料ダウンロード

この記事は、WEBからもダウンロードすることができます  
<https://www.kyotokagaku.com/jp/downloads/stomacare02.pdf>

WEBでも見れる

